

令和6年4月1日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

助教・1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

生物圏生命科学専攻・海洋生物学講座・生物海洋学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

海洋生物学講座では、海洋の沿岸域、沖合域、深海域をはじめ、湖沼や河川も含めた多様な環境とそこに生息する水生生物を対象に、その特性を理解し、多様性を保全しつつ、生物資源としての有効かつ持続的な利活用を行うための基礎から応用まで様々な研究活動を行っています。また、当講座では、こうした過程で得られた知見を教育面においても活用し、海洋環境や海洋生物資源を取り巻く様々な問題に対して多面的な視野からの解決能力を有する人材を育成しており、これらの活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献することを目指しています。

その中で、生物海洋学教育研究分野は、海洋生態系および生物生産ならびに赤潮や貝毒の発生機構などを解明するため、海洋微細藻類と環境要因との関連について教育と研究を行なっています。

5. 担当予定授業科目

（学部）海洋生物資源学概論，海洋生物資源学演習 I・II，海洋植物学実験，海洋環境調査実習，卒業研究 など

（大学院博士前期課程）生物海洋解析学特論，生物海洋解析学演習，海洋生物学特論，海洋生物学特別研究 I・II など

（大学院博士後期課程）水圏基礎生産学，特別演習，特別実験，特別調査研究 など

6. 応募資格・条件

（1）博士の学位を有し、学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。また、学部学生の実験・実習が担当できること。

（2）微細藻類の分類，系統地理，生理生態に関する優れた実績を有すること。

（3）国際共同研究の実績や海外での国際トレーニングコース等での指導経験があること。

（4）海洋調査船への乗船経験があり、生物資源学研究科附属練習船・勢水丸を用いた生物海洋学系の実習を担当できること。

（5）沿岸域において潜水による底生性微細藻類や海底堆積物採取等の調査ができること。

- (6) 英語等による留学生の指導が可能であること。
- (7) 地域共創大学としての三重大学の目標を理解し、地域創生につながる地方自治体・地元企業などとの研究や高大連携活動に積極的に取り組めること。
- (8) 着任後は、教育研究分野の運営、各種委員会などの活動にも積極的に関わること。

三重大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

※本学では、「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」(令和4年12月27日)を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記のURLをご参照ください。(<https://www.mie-u.ac.jp/danjo/wlb/>)

7. 応募書類 (いずれも PDF で提出)

- (1) 履歴書 (写真貼付) ※本学指定の様式に限る。
- (2) 業績目録
 - ・原著論文, 国際学会プロシーディング, 著書, 総説・解説, 特許, その他に区分し, 発表時期の新しいものから順に並べ, 番号を付すこと。受理に至っていない投稿中の論文は含めないこと。
 - ・学術論文に関しては, 査読制度の有無を記載し, 応募者が筆頭あるいは責任著者である業績番号の後に「*」を付すこと。
 - ・原著論文については, 各業績の概要および自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章 (200 字程度) を添えること。
- (3) 上記業績目録に掛かる別刷 (代表的なもの 10 編以内)
- (4) 研究費獲得実績, プロジェクト参加実績一覧
- (5) 教育に関する実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) これまでの所属組織などにおける管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの研究に関する概要 (1000 字程度)。業績目録 (2) に用いた原著論文の業績番号を引用すること。
- (9) 着任後の教育・研究活動に関する抱負 (1000 字程度)。
- (10) 応募者の連絡先 (住所, 電話番号, 電子メールアドレス)
- (11) 応募者についての照会先 (2名: 氏名, 所属, 役職, 電話番号, 電子メールアドレス)

なお, 個人情報 は 選考目的以外には使用しません。

8. 応募期間 令和6年4月1日(月)～令和6年5月31日(金)

9. 選考方法

書類審査を主としますが, 選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は, 自己負担となります。

10. 着任時期

令和6年9月以降のできるだけ早い時期

11. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし, 年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

※本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。なお、選考に際し、男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る処置に関する特例）の規定により、業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

1 2. 応募書類提出要領

電子データでの提出。応募希望の方には提出用URLをお送りしますので、下記メールアドレスに5月10日（金）までにご連絡下さい。なお、メールの件名には「海洋生物学講座・公募書類提出用URL希望」と記載すること。

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻

専攻長 教授 苅田 修一

E-mail: karita@bio.mie-u.ac.jp

1 3. 問い合わせ先

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 海洋生物学講座

講座主任 教授 筒井 直昭

TEL : 059-232-1211（三重大学代表）

E-mail: tsu2@bio.mie-u.ac.jp

1 4. 参考

海洋生物学講座教員一覧（令和6年4月1日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
生物海洋学	石川 輝		[本公募]
水族生理学		宮崎多恵子	
藻類学	倉島 彰		
浅海増殖学	松田浩一 筒井直昭		山本康介
先端養殖管理学	一色 正	北村真一	
魚類増殖学		淀 太我	
海洋生態学	木村妙子		
水圏資源生物学			伯耆匠二
水圏分子生態学	河村功一		
海洋個体群動態学		金岩 稔	
応用行動学		森川由隆	
水産応用情報学		岡辺拓巳	
鯨類学	森阪匡通	船坂徳子	
※発生・代謝機能解析学 (水産技術研究所)	松本才絵 藤原篤志	村下幸司	

※連携大学院

生物資源学部および生物資源学研究科のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/>

生物圏生命科学専攻のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

以上